

研究にご協力いただける方を募集しています

私は東邦大学大学院看護学研究科博士後期課程にて、「子育て世代包括支援センターにおける母子保健コーディネーターの妊婦初回面談の実践に関する研究」というテーマで研究に取り組み、妊婦初回面談の対話（ダイアログ）の実践モデルの仮説原案の妥当性を検討したいと考えています。そこで、子育て世代包括支援センターで、母子健康手帳交付時などに行われている妊婦面談を実践されている母子保健コーディネーターで、インタビューにご協力いただける方を探しています。本研究の趣旨をご理解いただき研究にご協力いただければ幸いです。なお、本研究は東邦大学看護学部倫理審査委員会の承認を得ております。（承認番号 RE2022006）

○研究の対象となる方

1. 保健師または助産師の経験年数が5年目以上の方で、妊婦初回面談を実践された経験のある母子保健コーディネーターの方 6～10名

*妊婦初回面談とは、子育て世代包括支援センターで母子健康手帳交付時などを通じて行われる面談のことです。

2. 60分程度お時間を取れる方

○ご協力いただきたい内容

- ・60分程度のインタビューをさせていただきます。
お話しいただく内容は、日頃の妊婦面談の実践についてです。
- ・インタビューはプライバシーの守れる個室で行います。また、ご希望によってZoomなどのWeb会議システムでも可能です。

*本研究は、一般社団法人 日本子育て包括支援推進機構を通じて募集させていただいており、機構の理事には研究者の指導教員が含まれていますが、理事には応募者はわかりません。また、調査の参加は強制ではなく自由意思によるものなので、参加されなくても何ら不利益が生じることはございません。調査終了後に指導教員からスーパーバイズを受けることがございますが、インタビューデータの個人が特定できる情報には、すべて記号化、デジタル化したもので指導を受けるため、個人情報を守られます。

*プライバシーは十分守り、お話しいただいた内容やデータは厳重に管理します。話したくないことは話す必要はありません。また、個人や組織が特定されるようなことはございません。

*調査の協力に同意をしても、理由の如何を問わず撤回することが可能です。しかし、インタビューを受けた後の同意の撤回は、インタビュー実施後3週間までになります。それ以降は、分析を開始してしまうため撤回はできないことをご了承下さい。

*調査のご協力に際して謝礼（クオカード2000円）がございます。また、インタビュー場所までの交通費は実費負担いたしますが、謝礼や交通費の受け取りに関しては選択していただけます。しかし、Web会議システムを使用する場合の通信費の補償はございませんのでご了承下さい。

【ご協力いただける場合のお申し出方法】

お手数ですが**1月31日(火)**までに、研究者（渡邊幸恵）までメールでご連絡いただくか、QRコードからお申込みください。お申し出をいただいた後、研究協力について詳細なご説明をさせていただきます。

メール：nd17001w@st.toho-u.jp



<研究者連絡先>

研究者：渡邊幸恵（ワタナベ サチエ）東邦大学大学院看護学研究科看護学専攻 博士後期課程
指導教員：福島富士子 東邦大学大学院看護学研究科教授
住所：東京都大田区大森西 4-16-20 電話：03-3762-9290（内線 344）